

3- (10) 教育課程の編成と実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

本学看護学部では、ディプロマポリシーの達成のために以下の方針でカリキュラムを編成する。

（教育内容）

1. 看護専門職者として、対象者および地域の健康に貢献できる豊かな人間性の育成のため、キリスト教科目を各学年に段階的に配置する。
2. カリキュラム構成は教養教育科目、専門基礎科目、専門教育科目の3つの区分と以下の群から成る。教養教育科目、専門基礎科目、専門教育科目、看護の発展科目に区分し、保健師課程を選択した場合、公衆衛生看護学を加えた区分編成となっている。
3. 本学部の特徴的な教育として、スピリチュアルケアの科目を設置し、自己と対象者の理解を深める。また、国際性を養うための体験学習型海外研修や、国際看護実習を設置している。
4. 人間としての成長をはかるために宗教教育・労作教育・寮教育を取り入れている。

（教育方法）

1. 授業では、予習・復習の時間を確保し、講義・演習・実習などの多様な学習形態を通して展開する。
2. 主体的な学ぶ力を身につけるために、グループワーク、ディベートなどの学習形態を通して展開する。